

アメリカの食文化について

中島 果穂（高校2年）

今日では、ハンバーガーやホットドッグなどが日本でも食べられるようになっていますが、多くの日本人が持つアメリカの食事のイメージは、量が多いということであると思います。ここでは私が経験したアメリカの食文化について述べます。

アメリカの人々はファストフードを本当によく食べます。その事がよくわかるのは、ファストフード店の多さです。車が主流の社会ですが、ドライブに連れて行ってもらうと10分に一度は必ず店を見かけるくらいでした。また、その量も日本よりもはるかに多いです。例えばジュースのサイズでは、Sサイズを選ぶと日本のM・Lサイズのカップが渡されます。そうしてドリンクバーのように自分でカップにジュースをいれます。カップをもらったら何杯でもおかわり自由！というところもありました。ハンバーガーや、ホットドッグでも、味の濃さ、パティのボリュームや、ソーセージの長さ、大きさが日本の倍あったように思えます。この量の多さ故に、食べきれない場合もあり、そんな時は捨てずに、持ち帰る事ができます。

レジの横に持ち帰り用のパックがあり、レストランでは、残していたら店員さんが持ち帰るか聞いてくれます。Take out の文化が発達していて、一回の食事の時点で食べきれなくても安心です。

また、たくさんの国のレストランが見られました。日本食や中華はもちろん、ブラジル、タイ、韓国、メキシコ、インドなど、多民族国家であるアメリカならではの多様性です。カリフォルニアロールのようなアメリカ食と日本食が融合したメニュー



もありとても面白く、何よりおいしい！特にトランスは日系の方が多くいるためか、日本食レストランのほかに、日本の食材が手に入るスーパーなどもあります。回転ずしのくら寿司もありました。なお、西洋わさびはとても辛いので少量から試すのをおすすめします。

食事の後に食べたくなるのがデザートですが、やはり日本とはいくつか異なる点が見られました。まず、とてもカラフル！可愛い！日本では、色とりどりのお菓子や食べ物は少ないですが、アメリカではチョコレートはもちろん、アイシングクッキーや、キャンディー、ドーナツ、ケーキなどはとてもカラフルで見た目でも楽しむことができます。またその味は日本の何倍も甘い！抹茶フレーバーさえも甘くアレンジされていて、おいしけれど、とても、甘い。なので、ビュッフェなどに行ったときはあまり欲張りすぎないほうが良いです。

アメリカ食と日本食では、たくさんの違いがありますが、その違いや、互いの良いところを知って、味わうことができるのが魅力的な点であると思います。皆さんが行ったときには、たくさんの食べ物に挑戦してください。